

## 「源流」はどう変わる？

真光寺川を清流にする会  
世話人 山口 拓郎

真光寺川は今でこそ住宅街を流れる整備された川である。昔は多摩丘陵の谷戸を流れる一筋の流れだったにちがいない。丘陵の多くの狭間から湧き出る水や、地勢にそって流出する雨水や、雪溶け水が、大地に真光寺川の原型を刻み込んできたものであろう。それは数百年、いやもっと永い歳月を要した自然の営みだったと思われる。

現在、源流と思える箇所を6カ所、確認することができる。その中の一つ、飯守神社の奥にある最も源流らしい箇所を我々は「源流」と呼び、真光寺川八景にも加えてきた。

これまで何度か「最初の一滴」を求めて小学生や先生方と共に探訪してきた。竹藪を掻き分け掻き分け進むと、僅かの平地がありその湿地帯に多くの沢ガニが棲息するいわば秘境である。

以前、仲間の間で話題となったことがある。折角の「源流」が荒廃した荒地のまま放置されているのは残念だ、何かそれらしい形にできないものか。市役所の担当の方にも相談してみた。しかし、これと言う決め手もないまま時間が経過した。その「源流」が開発されるという情報がもたらされた。にわかに我々の不安と期待は高まった。

### {11月}

#### ○観察概況

おだやかな天候が続く。コイのほかには魚の影はみかけなくなった。カモは相変わらず2~3羽たむろしてしている。水は一向にきれいにならない。新たに設置された「情報警報装置」が稼働しはじめた。泡が一面に浮かんでいる日が多いのが気になる。

11月 3日(火)のつだ丘の上秋まつり  
紅葉した野津田公園で催される秋まつりは気持ちがいい。今年も中村、山岡さんが、シュロのバツタづくりで参加して下さる。子供たちに評判がいい。一群れが青空のもと輪になってアイヌの踊りを踊っていた。

11月 6日(金)里親通信印刷・一木会  
14時から支所で作業。二田、山本、黒田山本、生江さん参加。  
18時から魚民で一木会。山本、黒田、岩上、吉田、久山さん出席。  
1、2月の行事、その他について打合せ。

11月 8日(日)定期作業日  
黒田、山岡夫妻、野田、田中、五条、笠井中村、久山さん参加。  
水は冷たいが陽がさしていたので助かった。前月まで見られた魚群は全く見られない。水温に敏感に反応しているのだろう。

11月14日(土)鶴三小・学校運営会議  
町田市の小学校で実施するボランティアコーディネーターの説明があった。いい制度だと思う。町五小の「ふれあいサタディ」の例を参考までお話しする。

11月19日(木)水サンプル採集  
夜が明けるのが遅い。6時15分に家を出る。気温は低い。開戸親水では精進場橋の辺りに多くの水鳥が群れているのが見えた。泡は開戸親水からただ橋の下流まで続いていた。途中、野田さんに合う。

11月26日(木)大野先生から電話  
和光小の大野先生から「季節的に遅くなってしまったが水生生物調査を実施したいので手伝ってほしい」と電話があった。山岡さんと連絡をとり支援をお願いする。

### {12月}

#### ○観察概況

この季節になると例年快晴が続くが、今年天候が定まらない。セキレイは晴雨にかかわらず、ご機嫌で迎えてくれる。雨で増水した際、水が着黒く濁るのが気になる。

12月 2日(水)和光小・水生生物調査  
14時、山岡さんが下堰親水の下手に観察

箇所を設定し、観察の道具一式を整え準備する。15時、大野先生と4年生12名がくる。のべられたビニールシートの上に水中から石を拾いあげる。ぬるぬるした石の裏に張り付いているヒル、ミズムシ、ケラ等をピンセットで並べていく。その種類と数を確認する。1時間余り、子供達は作業に熱中し水は冷たかったが満足そうだった。

12月11日(金)里親通信発行、一木会  
14時から支所で作業。山本、黒田、吉田さん。

16時から魚民で一木会。山本、黒田、岩上、吉田、久山さん。里親通信1月号は例年は「1年の懐古と新年の抱負」を主題にしていたが10年の節目にあたり「10年の歩みと、そしてこれから」となる。

12月13日(日)定期清掃日  
山本、黒田、桜井、田中、山岡夫妻、中村石黒、野田さん参加。前日の雨でやや増水。曇、陽はささなく気温は低い。12時解散。

12月14日(月)開発業者から電話  
源流の一つを造成して農園にすることになったので説明に伺いたい由連絡がある。

12月17日(木)水サンプル回収  
夜明けが遅い。6時半、夜が白むのを待ちかねて家をでる。気温は低いが快晴で気持ちがいい。五条池に厚い氷が張っていた。



「源流」を探查する

12月21日(月)開発業者来訪  
大栄開発の奥田さんが、資料を持参して下さる。宅地開発で出る残土を廃棄して農地を造成したい由。仲間と相談する旨伝える。

### {1月}

1月 8日 里親通信印刷、一木会  
14時から支所で里親通信の印刷作業。山本、黒田、吉田さん。

18時から魚民で一木会。山本、黒田、岩上、吉田、桜井さん。源流開発の件で様々な意見が出る。実地見聞することになる。

### 1月10日 1月例会・江ノ島散策

1月は清掃作業がお休みなので、恒例の新春散策となる。境川の河口探索を兼ねて江ノ島へ行く。11名参加。快晴に恵まれ気持ちのいい散策になる。野田さん夫妻も参加、早速里親通信のレポートをお願いする。

### 1月21日(木)水サンプル回収

前夜、支度をしている時、試験管を使い切ってしまったことに気がつく。迂闊だった。取り敢えずビタミン剤の瓶での代用を考え4本煮沸する。松前さんに事情を連絡する。当日、早曉に松前さんが届けて下さる。すっかりご迷惑をかけ恐縮する。6時半に家を出る。気温が異常に高く、4月頃の気象。歩いていて汗ばむぐらいだった。

### 1月25日(月)「源流」現地調査

開発会社の奥田社長立ち会いの下、現地を探查することになった。14時飯守神社集合。山本、黒田、岩上、生江、笠井、桜井吉田さん参加。現地で図面にもとずき説明を聞く。質問第1「何故開発するのか」開発業者は残土の廃棄地を求めている。地権者は荒地のまま放置するより、コストがゼロであれば農地に造成し活用したい。ちなみに造成費用は開発業者が負担する。質問第2「残土は環境汚染の懸念はないか」業者として事業を継続していくために信用を旨としている。その懸念は一切ない。皆の希望はサワガニが生存できる環境を維持してほしい、又、何か源流らしく整備できないか、等々。未だ行政に申請を出している段階であるので、逐次進捗状況を連絡するようにしたい。我々としては経過を注意深く見守っていききたい。(この項おわり)